

平成 22 年度生息密度調査実施計画

1. 実施項目

ニホンジカ保護管理計画に基づき、生息密度調査を実施する。平成 22 年度に実施する生息密度調査項目は以下のとおりである。

表1 生息密度調査項目

	調査対象地区	調査項目	調査頻度
生 息 状 況 調 査	緊急対策地区	糞粒法	毎年
		区画法	1回/5年
		ルートセンサス	毎年
	重点監視地区	糞粒法	毎年
		ルートセンサス	毎年
	周辺部	糞粒法	1回/5年

2. 実施方法

(1) 糞粒法

ニホンジカの季節ごとの 1 日あたりの平均排出糞粒数と排出された糞が昆虫や風雨等により分解されることを勘案して、一定面積内の糞粒数を記録し計算プログラム (HUNRYU1.2.1) で処理した値をニホンジカの生息密度とする方法である。糞の分解率は地域により異なるが、本調査では便宜上、プログラム初期値を用いる。

(2) 区画法

調査値を一定面積の区画に分け、調査員が各区画をくまなく踏査し、発見したニホンジカの頭数、性別、年齢区分等を記録し、発見時刻、逃走方向を勘案して重複を削除し、生息頭数とする方法である。

(3) ルートセンサス

決まったルート歩き、もしくは車で走り、観察された発見したニホンジカの頭数、性別、年齢区分等を記録し、距離あたりの発見頭数を相対的な生息密度指標とする方法である。ルートは、ビジターセンター～上道～尾鷲辻、ビジターセンター～中道～牛ヶ原、七つ池～開拓のルート徒歩のルート、ビジターセンター～経ヶ峰広場までを車のルートとしている。発見率を高めるため、夜間にライトを用いて実施する。

3. 実施予定

各調査は以下の期間に実施予定である。

- ・実施予定期間

糞粒法：10月18日～10月22日

区画法：10月28日、10月29日

ルートセンサス：10月25日～10月27日